



なんぶ

議会だより

第81号

令和6年9月議会
発行/令和6年12月



- 新議長・副議長あいさつ ……2
- 新委員会構成 ……3
- 9月議会審議結果 ……4~7
- 一般質問 ……8~17
- 挑戦者たち ……18

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



新委員会構成を紹介します

本会議場の議席配列で構成しています

【常任委員会(任期2年)】

- 予算決算常任委員会 (定数 14人)
- 総務経済常任委員会 (定数 7人)
- 民生教育常任委員会 (定数 7人)
- 広報常任委員会 (定数 8人)

議長・副議長【任期4年】 議会運営委員会【任期2年】	
14 景山 浩 議長 民生教育 予算決算 広報	13 眞壁容子 議会運営 民生教育 予算決算
12 板井 隆 総務経済 ○予算決算 広報	11 仲田司朗 民生教育 予算決算
10 三嶋義文 ◎議会運営 総務経済 予算決算	9 白川立真 ○議会運営 民生教育 ◎予算決算 広報
8 長束博信 副議長 総務経済 予算決算 広報	7 米澤睦雄 議会運営 ◎民生教育 予算決算
6 滝山克己 議会運営 ◎総務経済 予算決算	5 荊尾芳之 ○総務経済 予算決算
4 加藤 学 総務経済 予算決算 ○広報	3 埜田光雄 議会運営 ○民生教育 予算決算 ◎広報
2 井原啓明 総務経済 予算決算 広報	1 秋田佐紀子 民生教育 予算決算 広報

◎委員長 ○副委員長
○印は議席番号

【その他委員名簿】

監査委員	南部町・伯耆町 清掃施設管理組合議会	南部箕蚊屋 広域連合議会	西部広域行政 管理組合議会	後期高齢者医療 広域連合議会
米澤睦雄	景山浩 白川立真 井原啓明 秋田佐紀子	景山浩 眞壁容子 仲田司朗 荊尾芳之	景山浩	仲田司朗

任期満了に伴う議会選挙で、新議員の顔ぶれが決まりました。11月8日に開催された初臨時議会において、議長をはじめ委員会構成が決まりました。

議長挨拶



議長
景山 浩

前期に引き続き、再び議長の大役を仰せつかりました景山浩でございます。二回連続して無投票となった選挙後ということで、前期に増して責任の重大さを感じております。前期は「開かれた議会」、「政策提案能力を有する議会」を目標に掲げ議長に就任させていただきましたが、就任早々コロナ禍に見舞われ、議会活動にも大きな制約が生じるという事態となりました。今期は再度この二つの目標を掲げ直すとともに、議員定数や議員報酬の問題にも積極的に取り組んでいかなければならないと考えております。いよいよ少子・高齢化、人口減少に伴う各種問題が現実私達に降りかかる社会が訪れようとしています。立ち向かうべき課題と議会としての責任を明確に認識し、議会運営に取り組みたいと考えていますので、町民皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

副議長挨拶



副議長
長束 博信

このたび、副議長に就任いたしました長束博信でございます。職責の重大さを認識し、身の引き締まる思いです。南部町が誕生して20年になりますが、15年以上も前から叫ばれていた少子高齢化は全国でも顕著となり、この南部町も例外ではありません。この少子高齢化から派生する様々な問題、課題について私たち議員は真剣に議論を重ねながら良い結論を導き、次世代へつなげていくと共に町民の誰もが安心して生活できる南部町を目指し、創らなければなりません。その意味では行政への監視、政策提言、町民の意向など議長が先頭に立って進める議会運営を全力で支えながら町政発展に鋭意努力して参りますので、ご理解ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

令和5年度
決算

一般会計 賛成多数で認定

9月定例議会

令和6年9月定例議会は、9日（月）から27日（金）までの19日間の会期で開催された。令和5年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率や法人の経営状況についての報告と令和5年度一般会計、特別会計の決算をはじめ、令和6年度一般会計、病院事業会計の補正予算、条例の一部改正等、合計16議案のすべてを認定・可決した。
また、請願1件を不採択、陳情1件については採択とした。

令和5年度一般会計歳入歳出決算

討論

反対

- 農業支援について、認定農業者や農業法人に手厚く、小規模農業者への支援が少ないと感じる。
- これまで、一貫して学校給食の無償化を主張した。近隣の町村では無償化を実施している。
- 住民の命、暮らしを守る施策になっていない。公共料金を引き下げ、住民の生活を守るべきであった。
- 移住定住には支援があるが、住み続けている住民に対する支援策が足りない。
- 統合保育園の場所の問題、統合の是非、民間移管への財政を含めた不信感が否めないため、反対する。

賛成

- 決算報告では、執行率がおおむね70%を超えるものであった。執行率が低い事業に様々な媒体で周知してほしい。
- 自主財源が少ないなかで、給食完全無償化は出来ないが多子世帯（第3子以降）については無償となった。
- 農業施策はイネカメムシ対策、農業機械の支援等十分とは言わないが対応している。
- 保育園建設は、すみれ保育園は水害対策、さくら保育園は施設の老朽化から計画され、統合となった。民営保育園では公定価格によって運営費が交付され不足は超過負担となるが、民間移管が有利と思う。
- 各基金が目減りしていると感じている。予算の編成や執行には十分な配慮を申し添え、賛成する。

令和5年度一般会計決算の採決結果（○賛成 ×反対）

議員名（議席番号順）	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
令和5年度一般会計歳入歳出の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×



公共交通



統合保育所予定地（天万）

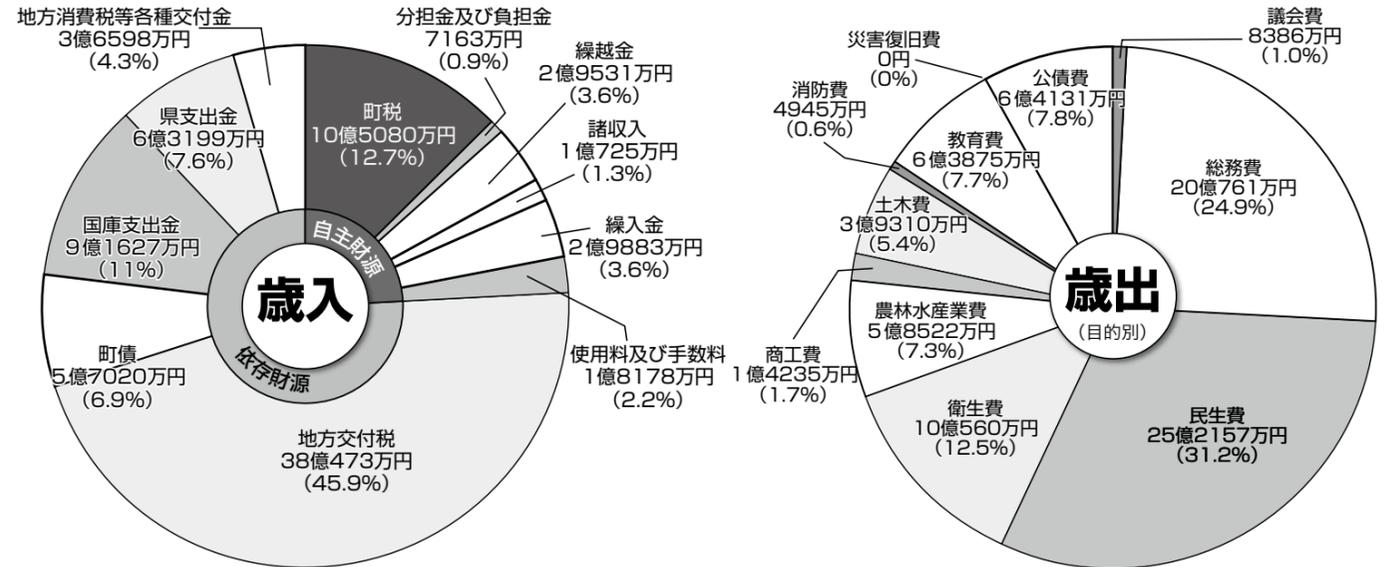


塵芥処理

コロナ禍と物価高騰対策で住民の生活を支援！
コロナ後の町の再生・再活を目指した決算！

歳入 82億9478万円
(前年対比3.6%減)

歳出 80億6992万円
(前年対比4.6%増)



自主財源 24.2% 依存財源 75.8%

例年ながら、町税他自主財源が乏しく、厳しい中での決算であった。

主な事業

- 公共交通対策事業（路線バス補助、町営ふれあいバスの運行） 8806万円
- 移住・定住促進対策（新婚子育て世代賃貸住宅家賃助成事業他） 950万円
- 地域振興交付金事業（7地区の地域振興協議会の運営交付金） 6285万円
- 地域活性化ポイント導入事業
（町内限定地域通貨たすかーど導入、町民に1万ポイント付与） 1億1405万円
- 低所得者に対する食料品等価格高騰緊急支援助成事業 1億2705万円
- 住民税非課税世帯に対する光熱費助成事業 4390万円
- 統合保育所整備事業（保育所建設の用地測量、不動産鑑定料） 859万円
- 上水道事業（基本料金6カ月分の減免） 4036万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（追加接種） 2468万円
- マイナンバーカード交付事業（町民の利便性向上） 3242万円
- 光ファイバー整備事業（引込工事、CATV撤去工事） 3億5942万円
- 学校体育館照明LED化事業（小中学校体育館） 3713万円
- 農地耕作条件改善事業（五色ヶ丘果樹団地の基盤整備） 7833万円
- 塵芥処理費
（一般廃棄物の収集・処理、南部・伯耆町清掃施設焼却場の負担金） 1億3078万円



たすかーど



五色ヶ丘

一般会計補正予算

令和6年度南部町一般会計補正予算は歳入歳出に4億816万円を追加して87億9282万円とする。

賛成多数で可決

討論

反対 ・新たに建てる保育園の費用の総額について、多くの人から高すぎると聞いている。
 ・今回の補正予算は4億800万円のうち3億円が保育園の統合事業である。この内約2億円を保育園整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）に使うとあるが今の計画で本当に良いのか。
 ・保育園を伯耆の国へ民間移管する根拠が浅い。定員が90人減っているのに事業総額も建物規模も大きくなっている。

賛成 ・賃金も上がり、物価が高騰すれば建設費も当初予算より増額しなければならない。補正予算は妥当と考える。
 ・統合保育所整備事業で2億1100万円、道路拡幅工事で8000万円になっている。令和6年度の当初計画から用地測量、建設設計、土地取得などの計画が組んであった。補正予算はこれらを予算化したものであり問題はない。
 ・保育園を民間移管して運営すれば、町からの支援金が明瞭になり費用が安くなると思う。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
議案第62号 一般会計補正予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議案第65号

鳥取県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議

賛成多数で可決

討論

反対 ・改正内容は健康保険証をやめて資格確認を発行することであるが、実態はマイナンバーカードの普及であり、後期高齢者医療を考えたことではない。
 ・新聞報道等でマイナ保険証にかんするトラブルが報道されている。個人情報保護にも問題がある。

賛成 ・高齢者にとっては大変だが紙保険証を廃止することでIT化が進む。次世代へ向けての対策としてのこと。
 ・「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認証等」に変更するだけのものだ。国の方針であり、変更は必要である。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
議案第65号 鳥取県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

請願6号

健康保険証の廃止をしないように求める請願

賛成少数で否決

討論

反対 ・マイナンバーカードの申請は任意なのに紙の保険証がなくなればマイナ保険証を作らなければならない。国が行っていることは矛盾している。
 ・紙の保険証をやめてマイナ保険証にすると国は決めたが、議事録が残っていない。国の一連のマイナ保険証を普及させる方法に問題がある。

賛成 ・5年間は資格確認書が発行される。医療を受ける体制は整う。
 ・マイナンバーカードの普及により医療歴や処方薬の確認が出来て、適切な医療を受けることができる。
 ・利用者の視点から見れば、国はマイナ保険証を持たなくても今まで通りに医療機関を受診できるようにしている。この点が一番大事である。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
請願6号 健康保険証の廃止をしないように求める請願	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

陳情7号 イネカメムシ被害に対する陳情

全会一致で可決

特別会計決算会計報告

全会一致で可決

会計名(決算)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)
墓苑事業特別会計	128	119	14
太陽光発電事業特別会計	7,281	7,004	276
病院事業会計	229,091	235,647	△6,556
在宅生活支援事業	4,226	4,570	△344

病院事業、在宅生活支援事業

コロナ関連の診療報酬上の特例措置、各種補助金がなくなった。コロナ感染症5類移行後、患者数は若干伸びている。様々な経費節減に努めたが、給与改定による人件費も増加し、赤字決算となった。

令和5年度 特別事業会計決算の認定採決結果（○賛成 ×反対）

会計名(決算) / 議員名(議席番号順)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
国民健康保険事業特別会計	135,992	132,934	2,158	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
後期高齢者医療特別会計	18,057	17,789	267	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
農業集落排水事業特別会計	20,896	17,607	3,289	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
浄化槽整備事業特別会計	6,048	5,089	958	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
公共下水道事業特別会計	18,607	16,755	1,852	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
水道事業会計歳入歳出	21,885	19,689	2,196	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

特別会計決算認定の討論

議案第51号 後期高齢者医療特別会計



討論

反対 後期高齢者で保険料を払っている加入者の中には年金だけが収入の人がいる。しかし、年金が上がらない中では支払い保険料の負担が大きい。

賛成 ・令和4年で概算すると、後期高齢者医療は全体で18兆4000億円。国の負担は8兆円、現役時代の負担が7兆円、加入者負担が3兆円。窓口支払いが3兆4000億円。
 ・本人負担は原則1割となる。これは大変良い制度である。

議案第57号 水道事業特別会計

討論

反対 ・水道料金は公共料金であり、現在の物価高騰の時は引き下げるべきものであるとの立場から反対する。
 ・追加の理由として、来年度から農業集落排水事業特別会計、浄化槽事業特別会計、公共下水道事業特別会計が公営企業会計となる。公営企業会計となった場合、一般会計から繰り入れが認められなくなるが、引き続き、今まで通りの繰り入れが行われることを求める。

賛成 ・町民の経済対策として、水道使用量の基本料金6か月間減免をしました。使用料未収入の2870万円は町の一般財源から補填された。
 ・電気代ほか経費の高騰で動力費が増加したものの、純利益は1724万円であった。
 ・水道管の老朽化によって更新工事を進め、自然災害時に重要なライフラインを守る事業も対応しているので賛成する。

一般質問

町長 震度6クラス以上の地震が発生した時の対応はどうか。
長束 震度6クラス以上の地震が発生した時の対応はどうか。災害時配備職員参集体制第2号配備で全職員を参集し、災害対策本部を設置し災害状況の現状把握と県や関係機

町長 更に西伯病院も浸水する場合はどうするのか。
長束 立地場所は50cm未満の浸水予想であり、自家発電、

町長 認知症基本法が1月1日施行されたが、これに従い取組み強化として何か実施し

町長 現在の認知症登録者数と増加する想定数はどうか。
長束 8月末で18名の登録。厚労省の推計を参考に南部町を試算すると2030年に731人、2040年に678人となる。認知症の支え手が減少していくので疾病予防が大切。住み慣れた地域で暮らせるよう共生と予防する施策に取り組んでいく。

背景 1月1日能登半島地震で新潟県を含め9月1日付で関連死を含め360人もの犠牲者が出た。7月には山形県、秋田県で記録的豪雨による最上川の氾濫で集落の水没・冠水及び警察官を含む犠牲者多数。8月には日向灘地震で南海トラフ地震臨時情報発令など南部町も例外でなく、いつ災害が発生するか分からない状況で防災への備えが必須。



防災の備え
 Q 震度6以上の地震の対応はどうするのか
 A 全職員参集と災害対策本部設置で初動対応

関と連携し情報収集、初動対応を図る。
 (会計年度任用職員は参集に含まない)

長束 線状降水帯による氾濫で集落の浸水や法勝寺庁舎も浸水する場合はどうか。

町長 賀祥ダムや朝鍋ダムによる緊急放流や山間地からの雨水による氾濫に関する事前情報の発信と避難行動を促し、命を守る行動につなげていく。

庁舎の浸水に対し非常用電源をかさ上げし、想定される浸水にも72時間電源供給が継続できる対応としている。また、業務継続不可の場合は天萬庁舎への移転を想定している。

受水槽、2階以上の機能に影響は無いと判断している。発電機の燃料は7日間程度の医療機器

稼働や空調など院内機能を確保。また、入院患者への非常食として3日分備蓄している。

認知症施策
 Q 取組みを推進する体制は
 A 地域包括支援センター保健師と地域支援推進員

長束 認知症に対する南部町の取組みを支え推進する体制はどうか。また、主に実施している計画は何か。

町長 取組み体制は地域包括支援センターの保健師と認知症地域支援推進員の2名が中心で推進。主な事業は百歳体操を利用した介護予防、認知症検査、見守りカードの事前登録、

認知症高齢者等個人賠償責任補償保険、認知症カフェ、家族のつらい運営、認知症サポーター要請講座、認知症SOSネットワーク訓練など実施している。

町長 現在の認知症登録者数と増加する想定数はどうか。
長束 8月末で18名の登録。厚労省の推計を参考に南部町を試算すると2030年に731人、2040年に678人となる。認知症の支え手が減少していくので疾病予防が大切。住み慣れた地域で暮らせるよう共生と予防する施策に取り組んでいく。

令和6年9月定例議会一般質問ダイジェスト

議員名	発言時間	質問事項
1 長束 博信	30	1 防災の備え
		2 認知症施策
2 荊尾 芳之	30	1 統合保育園
		2 キャッシュレス事業
		3 スポーツ大会の活用
3 三嶋 義文	30	1 高齢化社会の対応
4 板井 隆	30	1 祐生出合いの館の利活用
		2 なんぶ創生総合戦略
5 亀尾 共三	30	1 生活支援の実施
		2 風力発電計画
		3 学校給食費無償化の実施
6 仲田 司朗	30	1 西伯病院の経営状況
		2 物価高騰対策
		3 放課後に勉強する場所
7 加藤 学	30	1 物価高騰対策
		2 放課後に勉強する場所
		3 農業者支援
8 眞壁 容子	30	1 町立保育園の維持
		2 人口減少時代の自治体政策
9 細田 元教	30	1 地域共生社会の実現
		2 統合保育所の運営
		3 教育施策

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

議会活動日誌

7月		
日	曜日	会議・行事
1	月	西部町村議会 正副議長局長合同研修会
4	木	広報常任委員会②
8	月	西部町村議会議長会 7月定期総会
12	金	広報常任委員会③
16~17	火~水	地方行政調査
17	水	議会全員協議会
18	木	広報常任委員会④
20	土	原水爆禁止国民平和大行進 南部町通過式
22	月	鳥取県町村議会 女性議員研修会
23	火	鳥取県町村議会 広報研修会
26	金	日本海政経懇話会 7月西部特別例会 反核・平和の火リレー 南部町通過式
8月		
日	曜日	会議・行事
1	木	西部町村議会議長会 正副会長打合せ
5	月	鳥取県町村議会議長会 8月期役員会
7	水	南部箕蚊屋広域連合議会 議会運営委員会
19	月	西部町村議会議長会 自治功労者表彰式・議員研修会
20~21	火~水	鳥取県町村議会議長会 役員会行政調査
22	木	議会運営委員会
23	金	日本海政経懇話会 8月例会
27	火	南部町伯耆町清掃施設管理組合議会 定例会 南部箕蚊屋広域連合議会 定例会

28	水	西部広域行政管理組合議会 臨時会
29	木	1村2町下水道協議会 総会
9月		
日	曜日	会議・行事
9	月	議会運営委員会 議会全員協議会 定例議会 本会議
10	火	定例議会 本会議
11	水	定例議会 一般質問
12	木	定例議会 一般質問 定例議会 一般質問
13	金	議会改革調査特別委員会 総務経済常任委員会 民生教育常任委員会
17	火	常任委員会
18	水	常任委員会
19	木	常任委員会
20	金	常任委員会
24	火	常任委員会 常任委員会
25	水	議会全員協議会 広報常任委員会①
26	水	議会運営委員会 議会全員協議会
27	金	定例議会 本会議



【質問の通告】
 一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。
 【一般質問の時間】
 定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。
 町民皆様の声を町政に問います。

キャッシュレス事業

Q 事業推進のため必要経費への支援策は
A 経営者の声を聞き支援策を検討する

荊尾 地域通貨「たすかーど」の導入状況の推移について問う。

町長 令和5年11月に30店舗でスタートした「たすかーど事業」は、その後2店舗が加わり32店舗となったが、現在は8店が脱退され加盟店は24店舗の状況だ。

荊尾 たすかーどの使用環境の部分で、必要経費の支援は出来ないか、事業を継続する上での課題は何か、利用者の利用額はどうかについて問う。

町長 町民の皆様には1万ポイントを付与した令和5年11月から2月までの利用者数は、月5千人以上、利用額は月平均3千万円以上だった。これに対し、全町民へのポイントの付与がなくなった3月以降の利用者数は月平均600人程度、利用

額は月平均870万円程度となっている。このことから、自ら現金をチャージしての利用者はまだまだ少ないことが分かってきた。7月から毎月第3金曜日に現金チャージポイント5倍デーを行っている。利用者を増やすには、カード利用できる店舗が増えていくことが重要だ。事業実施している商工会と連携して、店の経営者の声を聞きながら必要な支援策を検討する。

たすかーどは、町内限定の地域通貨で、利用は町内店舗に限られるが、業種は限定しておらず、小売店、飲食店、ガソリンスタンド、病院など幅広い業種で利用ができる点特徴だ。人口減少の中でも町内の買い物環境が存続し、将来にも身近な地域で買い物ができる、安心して暮らせるまちづくりにつなげていきたいと考えている。

が連携して行っている「買い物代行サービス」など、地域の買い物弱者を支援している。

三鴨 「高齢者の方が出来なくなっただけの悩み事」「ゴミステーションまでの運搬」「野良猫の増加」など、小さなことだが、町も何らかの支援策を考えて欲しい。

農業の後継者や高齢化も将来を見据えると厳しいものがある。町の考えは。

町長 人口減少や高齢化は、地域農業を維持していくにも大きな課題となっている。地域で話し合い相談する、そこに行政がかけつけて相談のついでにいくつとした体制づくりを進める。

また、働ける人がいなければ、地域に若い人を呼び込んで、手伝ってもらおうような地域との関係人口を求めていく。

冬場の凍結問題

Q 県道の冬場の凍結問題は
A 重点要望箇所として県に陳情する



かたらお よしゆき 荊尾芳之 議員



荊尾 統合保育園の建設に関わる古墳調査や農振除外、農地転用等の進捗状況を問う。

町長 埋蔵文化財調査は、試掘調査が完了し、本調査は不要となった。農振除外及び農地転用の手続きは、段階を追って進み、鳥取県農業会議の委員会にて意見聴取を受け、12月に県から農振除外と農地転用の本許可を受ける予定だ。

荊尾 保育園の建設場所を決定する際に課題となっている項目についての現状を問う。

町長 県道の寺内から消防出張所間の冬場の凍結問題は、県道管理者に早朝及び夜間の重点的な除雪作業や凍結防止剤の

散布を強化することをお願いしている。

また、道路の中心線の改良工事や歩道新設工事について重点要望箇所として県に陳情をしている。

次に町道大安寺線の道路改良は、統合保育園への主要道路であり、幅員が2.5mと狭く、車両の擦れ違いが困難なため道路拡幅工事を計画している。規模は、保育園まで2車線、全長134mで幅員7mに加え、保育園側に片側歩道を設けた形で改良工事をする。

また、清水川地内の国道バイパスから県道への右折車両の対応策については、現場は見通しも良く右折専用レーンが設けられているため、現在はストレスなく安全に通行は可能だと考えるため現状でいきたい。

高齢化社会

Q 高齢者支援を町はどう考えているか
A 地域に若者を呼び込んで関係人口を求めていく



みかも よしひみ 三鴨義文 議員



背景 人生100歳時代ともいわれ、地方での高齢化は想定を超える状況で推移している。

こうした中、地方では従来のように助け合いや「自分たちで出来ることは自分たちで」といった独自対応は限界が来ているように感じる。

人と人との関わりが希薄になり、集落の自治会機能が低下してきた今、高齢化した住民が、どのような支援を行政に期待し、皆さんが暮らしやすい町と想っていただけでは何が必要か、あらゆる角度から考える時期に来ていると思う。町の考えを問う。

三鴨 4年間、最近の推移について問う。

- ① 65歳以上の人口
- ② 高齢化率
- ③ 空き家の変遷
- ④ 町営バスの利用状況
- ⑤ 免許返納者の推移
- ⑥ 耕作放棄地の推移

町長 ① 65歳以上の高齢者人口は町全体で492人が減少している中でプラス6人になった。

- ② 高齢化率は37.29%から39.16%と約2%上昇した。
- ③ 空き家の変遷は平成27年度が180軒だったものが、令和5年度の調査で284軒となり8年間で約100軒増加した。
- ④ 町営バスの利用状況は令和2年度に約3万8千人だったものが令和5年度には2万8千人と大きく減少したが、これは、コ

- ロナの影響とタクシー運行に移行する過渡期であったための利用者減と考えている。
- ⑤ 免許返納者の推移は毎年約40人前後で推移している。
- ⑥ 耕作放棄地の推移では4年間で約1万6千㎡22.7%が増えている。

三鴨 どの数値を見ても、高齢化を含め、町の将来において不安を感じさせる傾向ばかりとなっている。

これまでの、高齢者の皆さんへの生活支援施策はどの様なことがされてきたか。

町長 町営バスもタクシー型運行に移行し、バス停も増やしたことにより、利用者は年々増加傾向にある。

介護予防を目的にした「いきいき百歳体操」や買い物支援として移動販売車での移動スーパー「おまかせくん」も昨年からスタートした。

さらに、JCOCA南部と丸合

祐生出会いの館 Q 安部朱美氏の常設展示を A 面積的に不十分であると思う



板井 隆 議員



背景 人形創作作家の安部朱美さんの知人から、これまでの作品を将来的に常設展示、保存管理についての相談を受けた。

安部氏の故郷は、緑水湖の湖底となった地で生まれ育っている。人形の作品が地域愛のルーツを持った芸術作品でもあることから、祐生出会いの館で保存管理と常設展示が出来ないかとの相談であった。安部さんの希望は、一か所での収蔵、展示を望んでおられる。無二無三の手を持つ安部さんの作品の展示によって、町の宝に触れ、子どもたちの教育の場となり、町民の心を癒し、町の名声も大きくなると思ひ質問する。

板井 安部さんの創作人形の評価と収蔵、展示は一か所が良いとの提案をどう受け止めるか問う。

教育長 安部さんの作品は、日本、世界で称賛を受けている。評価より後世に残していくべき町の大切な宝であると思っている。作品を収蔵管理、展示の場所は一か所であること



安部朱美さんの創作人形

は望ましい。しかし、祐生出会いの館の収蔵施設としては、各種機能の老朽化、面積的に不十分であると思う。

板井 文化財団を立ち上げ、創作人形を維持管理、展示

なんぶ創生総合戦略 Q これまでの成果と課題 A 住民が豊かに暮らせる仕掛けづくりの構築

背景 少子高齢化、人口減少が進むなか、地方創生を加速させ、その現実を通して、町が輝き続けられるよう、なんぶ総合戦略が策定され、10年が経過した。

暮らし続ける仕掛けを変える必要がある。

板井 地域振興協議会の成果と課題、今後の深化について問う。

板井 生涯活躍の町づくりを進めるパートナーの成果と課題。

町長 地域振興協議会が設立され17年が経過した。成果として、住民主体の地域活動の組織ができた。課題として、人口が減少しても、住民が豊かに

暮らし続ける仕掛けを構築する必要がある。

町長 なんぶ里山デザイン機構、JOCAなんぶ、総合型地域スポーツクラブそれぞれが、町生涯活躍の町づくりに邁進している。

生活支援の実施

Q 上下水道料金の引き下げを A 引き下げは現実的でない



亀尾 共三 議員



亀尾 最近の物価の値上がりは、毎日の生活に大きな負担だ。ほぼすべての住民に恩恵のある水道料金の引き下げは急務ではないか。上下水道料金を引き下げる考えはないか。

現行の下水道料金だけでは経営がでない。下水道同様今後経費増がみこまれることから、引き下げは現実的ではない。

上下水道料金については、中長期的な収支を見据えながら、適正な運営となるよう料金を見直しを行い、子どもたちにツケを回さない、先送りをしない健全な形で次世代に引き継いでいかねばならないと考えている。

町長 水道料金は、令和5年度末時点で1億1千万円以上の累積赤字になっている状況だ。給水収益は、人口減等で減少、一方、燃料費や資材等の高騰、老朽化施設更新等の工事費の増で経営の悪化も予想される。水道料金の値下げは現実的ではないと考えている。

下水道については、本年度から公営企業会計として運営している。現状の収支は、これまでの特別会計同様、一般会計からの繰り入れて収支を保っており、



風力発電

大型風力発電

Q 計画の断念をせまるべきでは A 本町への設置には反対の意見が出ている

亀尾 現在の進捗状況はどうか。

町長 環境影響評価の手続きは、配慮書、準備書、評価書の順に進められ、各段階で住民等への情報公開と意見聴取が行われる。

亀尾 今後広域的に協議し、計画の断念をせまるべきではないか。

町長 町では、第一段階の配慮書と第二段階の方法書の提出時点で、南部町全域が里山里山に指定されていることを踏まえ、鳥取県知事に対し、豊かな自然環境に影響を及ぼすことや、自然の景観を損なうことが懸念されることから、本町への施設の設置については反対する意見を出している。

学校給食の無償化 Q 学校給食の無償化を A 国でその方向を模索すべき

亀尾 学校給食費の無償化を引き続き求める。無償化のための予算はいくらとみているのか。

教育長 令和6年5月時点での児童数は、小学校466人、中学校265人で、予算額は約4500万円必要と試算した。

亀尾 無駄を削減して、学校給食費に回せないか。

町長 教育は未来への投資と思うが、そこには優先順位があると思う。生活困窮者への制度もある。一自治体の問題ではなく、国でその方向を模索すべきと思っている。

保育園運営費

Q 町が示した金額の2倍は需要額に含まれているのでは
A 需要額ベースではそうかもしれない



真壁容子 議員



背景 サービスの多様化、保育士採用の柔軟性をうたった町立保育園の指定管理だが、ここに来て保育士不足が保護者からも指摘され、不安を抱かせている。園児の安全が最も重要な保育園での保育士不足は、園の存立への影響も及ぼしかない。

町長 平成16年度から、保育運営補助金が地方交付税算入となり、分析が難解になったと認識しているとともに実際の経費に対し交付額は少ないものと整理している。

真壁 一方で民間は公定価格の算定方法に基づき給付されることから経費に対し確実に給付を受けることができ、民間移管の方が財政的に有利と考えている。

真壁 町の歳出削減を理由として現指定管理保育園の統廃合・民間移管を進めようとしているが、これで、今起こっている保育士不足が解消するとは到底考えられない。

真壁 町立には、需要額で1億2300万円という数字が出たが、前議会の答弁で「この数字は誤りではないがそれがすべてではない」と町長の弁であったがどういう意味か。

町長 あくまでも試算だ。議員の係数も確かにそうだが私たちが出した結果も確かだ。思いは同じにならないが、私立

民間の方が町財政に有利とはいえない。

真壁 町立には、需要額で1億2300万円という数字が出たが、前議会の答弁で「この数字は誤りではないがそれがすべてではない」と町長の弁であったがどういう意味か。

の方が運営費は安いと私たちはそう思っている。

真壁 数字が違うという根拠で言えば、4園の公定価格はいくらとみているか。

町長 4園の公定価格は2億5857万円と試算している。

真壁 町が出した4園の需要額は1億2300万円、国が示した公定価格では2億5857万円と2倍の差がある。

町長は「交付税はいくらかわからない」というが、その根拠となる需要額は令和4年度で保育園の需要額が含まれる社会福祉費は5億5600万円と台帳にあり、そのほとんどが保育園費であり、ここに公定価格相当分が入っているのではないかと、これに対比すべきではないか。

町長 需要額ベースでは確かにそうかもしれないと思う。若干ではあるが民間園の方が有利ということだ。

真壁 4園のうち2園が民間になった場合、町に入る地方交付税はいくら減額されるとみているか。

町長 試算していない。

真壁 交付税が試算できないとなると、現在の指定管理料はどうしているのか。

町長 積み上げで計算している。

真壁 それでは町の超過負担も把握しないのか。

町長 超過負担額については現在わからない。

地域共生社会

Q 地域共生社会の実現について
A 生活支援が包括的に提供されるシステムの構築



細田元教 議員



背景 2040問題で、人口減少、少子高齢化が進む現状において、子育て支援の充実と高齢者には社会保障や介護の充実は大変重要な施策となっている。

細田 高齢者が住み慣れた地域で、暮らしを支える施策について問う。

町長 高齢者が住みな慣れた地域で、自分らしく、自立した生活が出来るよう、医療、介護、介護予防、住まいの生活支援が包括的に提供されるシステムの推進を目指していきたい。

細田 地域振興協議会の更なる発展について考えを問う。



全国コミュニティスクール研究大会

町長 協議会の展望について、現在、島根大学との共同研究で、各区長さんの意見を聞きながら、地域づくりについて方向性を検討している。

細田 医療と福祉の連携と施策について問う。

町長 地域包括ケアシステムを進めるうえで欠かせないと思っている。個別の課題から地域の課題を把握して、健康データを基にした連携事業を進めたいと思っている。

統合保育所

Q 運営について
A 多様なサービスが生まれる可能性がある

細田 統合保育所の私立運営のメリットについて問う。

町長 多様な保育のニーズに対応したサービスが生まれる可能性がある。現在、伯耆の国では、プロジェクトチームを立ち上げ、保育サービスについての検討がなされていると聞いている。

町長 町としては、保育に係る収支が

明確になり、財政面でも優位である。

細田 公立保育園の運営費について国は地方財政措置を講じているか問う。

町長 政府の三位一体改革によって、地方交付税の一般財源化が行われた。財源の自由化が増した一方で、国の交付額の分析が難解になったと認識している。

教育施策

Q 魅力ある教育施策
A 若者を町の人材として育む社会教育の充実

細田 私のポリシーは福祉と教育であると思っている。

コミュニティスクール全国大会は南部町独自の教育に名を挙げたと思う。他にないローカルメニューで教育施策をつくれれば、魅力を感じて越境入学を生む可能性を秘めていると思う。教育長の今後の教育施策について問う。

教育長 本町では保育との連携を含めた小中一貫した学校教育と、義務教育卒業後の若者を町の人材として育む社会教育が一体となり、地域と共に歩む学校づくりに取り組んでいることだと認識している。学校教育においては、様々な諸課題を克服すべく、教育施策を講じる考えである。

新たに町議会議員に挑戦する二人を取材しました。



井原 啓明さん
南部町福成（66歳）
元南部町農業委員
元法勝寺中学校PTA会長



秋田 佐紀子さん
南部町武信（63歳）
鳥取大学医療技術短期大学看護学科卒
西伯病院に39年間勤務

Q1 町議会議員になる前は何をしていましたか？



歌うことが好きで60歳で退職した際、原発反対戦争反対の路上ライブをしたかったがなかなか踏み出せずにいた。そんな時に市民連合の人と知り合った。これをきっかけに毎週金曜日中国電力前、毎月3日米子市文化ホール前でライブ活動を4年間やってきた。



目の前にある「課題」に挑戦しないと後悔する性格。西伯町訪問看護ステーションの立ち上げの時、訪問看護ステーションが社会福祉協議会へ移行する時、西伯病院で訪問看護を立ち上げる時、通所リハビリテーションを立ち上げる時など、目の前の課題に取り組んできた。

Q2 任用になって取り組みたいことは何ですか？

保育園の問題、会計年度任用職員の問題、風力発電の問題、クリーンセンターの問題などなど、町政をチェックすることに取り組むたい。

健康診断の受診率引き上げ。健康診断を受けていれば防げる病気がある。介護予防のためにも受診率引き上げに取り組むたい。また、人の命と暮らしを守ることをして防災全般について取り組むたい。

あとがき

10月に町議会一般選挙があり、議長、副議長以下、全委員会メンバーも刷新となりました。

今回の議会だよりの作成が広報常任委員会の新メンバーでの初仕事になっています。

南部町議会や町政の情報など町民の皆様にお伝えし、議会を身近に感じて頂けるよう分かりやすい議会だよりの作成をおこないたいと思っています。

よろしくお願ひいたします。
新メンバーが決定した後から議会だよりの作成のために発行が遅れたことをお詫びします。

(埴田)

広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

- 埴田 光雄
- 加藤 学
- 景山 浩
- 板井 隆
- 白川 立真
- 長束 博信
- 井原 啓明
- 秋田 佐紀子